

札沼線代替バス月形当別線  
地域旅客運送サービス継続事業実施計画

令和6年6月6日

月 形 町

当 別 町

## 1 実施区域

### (1) 月形町

市北、赤川、市南、南耕地、月ヶ岡、新田

### (2) 当別町

中小屋、金沢、樺戸町、東町、緑町、春日町、北栄町、白樺町、西町、末広、美里、下川町、弥生、錦町、園生

## 2 事業の内容・実施主体

### (1) 実施内容・実施主体

区分	赤路線
事業主体	有限会社下段モータース
運送機関	一般乗合旅客自動車運送事業
態様	路線定期運行
運行期間	令和6年10月1日～令和10年3月31日
運行路線	別紙路線図のとおり
運行日	1月1日を除き、毎日運行する。
運行時間・運行便数	別紙時刻表のとおり
運行車両	ハイエースコンピューター（13人乗り） ポンチョ（32人乗り）
運行体系	別紙運賃表のとおり

### (2) 公募の結果

区分	赤路線
選定方式	公募型プロポーザル方式
スケジュール	・プロポーザル公告 令和6年2月27日 ・企画提案書の提出期限 令和6年3月7日 ・企画提案審査 令和6年3月25日 ・審査結果の通知、公表 令和6年3月26日
応募事業者数	1社
選定事業者	有限会社下段モータース

## 3 地方公共団体による支援の内容

(1) 運行に係る車両購入費について、国や北海道の補助事業の活用と併せて、月形町・当別町での予算措置により、運行事業者に対して支援を行う。

- (2) 運行経費から運賃収入を差し引いた損益分について、国や北海道の補助事業の活用と併せて、月形町・当別町での予算措置により、運行事業者に対して支援を行い、本計画の期間に関わらず、実施区域の「生活の足」の維持・確保に努める。
- (3) 地域住民を対象とした利用方法の説明会、バスマップの作成・配布及び広報誌への情報掲載など、地域や運行事業者と連携して利用促進の取組みを進める。
- (4) 地域公共交通の有識者を講師とした講演会を開催し、地域住民の公共交通への意識醸成を図る。

#### 4 実施予定期間

令和6年10月1日～令和10年3月31日

※さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画の期間終了まで

#### 5 事業実施に必要な資金の額、調達方法

項目	総事業費	内訳 (概算)	調達方法		実施年度
			調達主体	(補助金等)	
民間路線 バスによる 継続	178,687 千円	3,848 千円 R7:1,000 千円 R8:1,600 千円 R9:960 千円 R10:288 千円	有限会社下 段モーター ス	車両減価償 却費等国庫 補助金	令和7年度～ 令和10年度 (補助年度)
		6,152 千円	月形町 当別町	運行に係る 車両購入費 の補助	令和7年度 (会計年度)
		58,348 千円 単年:16,671 千円 R10:8,335 千円	有限会社下 段モーター ス	地域間幹線 系統確保維 持費補助金	令和7年度～ 令和10年度 (補助年度)
		14,931 千円 単年:4,266 千円 R6:2,133 千円	有限会社下 段モーター ス	運賃収入等	令和6年度～ 令和9年度 (会計年度)
		95,408 千円 単年:27,399 千円 R6:13,700 千円 R9:26,910 千円	月形町 当別町	運行費に係 る補助金	令和6年度～ 令和9年度 (会計年度)

※本表記載の補助金等の額については、現時点の見込み額であり、記載のとおり調達がなされない場合がある。

6 事業の効果

項 目	民間路線バスによる継続
事業効果	○通院、通学、買い物、観光等の移動目的や移動ニーズを踏まえた広域的な交通ネットワークの確保・維持 【利用者数】 現状値（令和4年度）14,398人 目標値（令和9年度）19,116人以上
地域公共交通計画での目標における位置付け	【さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画】 目標① 多様な目的に対応した、持続可能な広域交通の確保 指標① 公的資金が投入されている広域交通の利用者数 現状値（令和3年度）1,461,769人 目標値（令和9年度）1,546,944人以上 【南空知地域公共交通計画】 目標① 広域的な交通ネットワークの維持・確保 指標Ⅰ 広域交通の利用者数 現状値（令和4年度）962千人 目標値（令和10年度）969千人以上

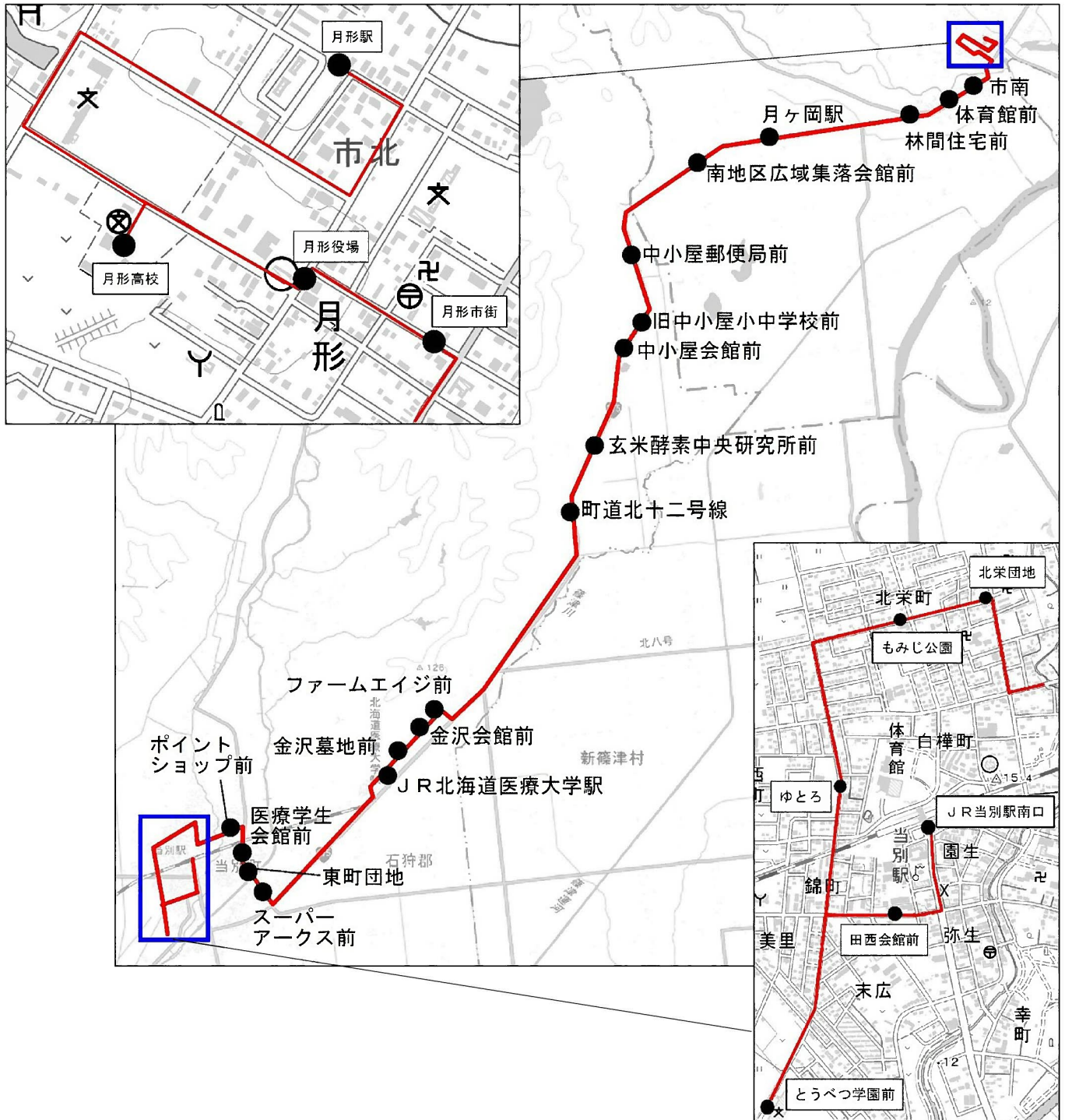
7 地域公共交通計画に継続事業に関連して実施される事業が定められている場合には、当該事業に関する事項

- (1) 地域間幹線系統補助の基準である1日あたりの輸送量15人を目指し、南空知地域公共交通活性化協議会・さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通活性化協議会・月形町地域公共交通活性化協議会・当別町地域公共交通活性化協議会で連携を諮り、利用者数を増やすための利用促進事業の実施、運賃収入を増やす方策を検討し、継続事業終了後も見越した体制整備を図る。【さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画 施策・事業③④、南空知地域公共交通計画 事業③】
- (2) 令和6年4月1日から月形町から札幌市の高校への通学に合わせた始発便のダイヤ・ルート改正、当別町金沢地区の中学生の部活動に合わせたダイヤ改正により、利便性向上に努めており、今後も地域住民等のニーズ、運行事業者の安全・安定運行を考慮した運行内容となるよう検討し、必要に応じて見直しを行う。【さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画 施策①・南空知地域公共交通計画 事業①】

8 その他継続事業の運営に重大な関係を有する事項がある場合には、その事項特になし

別紙

①路線図



②時刻表

路線(系統)名	平日		土日祝	
	往	復	往	復
月形当別線	9便	9便	7便	7便

